

# Raster Link 7

## 治具バーコード機能ガイド

# 目次

はじめに .....	3
ご注意 .....	3
この説明書について .....	3
<b>第 1 章 治具バーコード機能の概要</b>	
1.1 治具バーコード機能とは .....	6
1.2 動作環境 .....	7
1.3 システム構成 .....	8
1.4 作業フロー .....	9
準備フロー .....	9
印刷フロー .....	9
従来の印刷フローとの比較 .....	9
1.5 JigLinkとは .....	10
<b>第 2 章 事前準備</b>	
2.1 [準備] RasterLink7の設定 .....	12
2.2 [準備] JigLinkのインストール .....	13
2.3 [準備] JigLinkへの治具登録からバーコード貼り付けまで .....	14
治具定義ファイルの作成とエクスポート .....	15
JigLinkの起動とバーコードの準備 .....	15
<b>第 3 章 治具バーコード機能を使用した印刷手順</b>	
3.1 [印刷] 手順の概要 .....	18
3.2 [印刷] 手順の詳細 .....	19
<b>第 4 章 こんなときは</b>	
4.1 発行したバーコードを検索する .....	24
4.2 バーコードの値を手動で入力する .....	25
4.3 複数の治具を使用して印刷する .....	26
4.4 治具バーコード機能を使用した場合の機能制限 .....	28
治具配置印刷のコピー数が、1つの治具に配置できる最大個数を超える 場合 .....	28
実行回数が複数回の場合 .....	28
4.5 エラーメッセージについて .....	29

# はじめに

本書では、RasterLink7の治具バーコード機能を使用した治具配置印刷について、JigLinkの使い方や印刷手順などを説明します。

## ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 8.1、Windows 10は、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。





その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## この説明書について

### 本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[]で囲っています。

### マークについて

内容		
	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

### 本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/download/software.html>)



# 第1章 治具バーコード機能の概要



この章では...

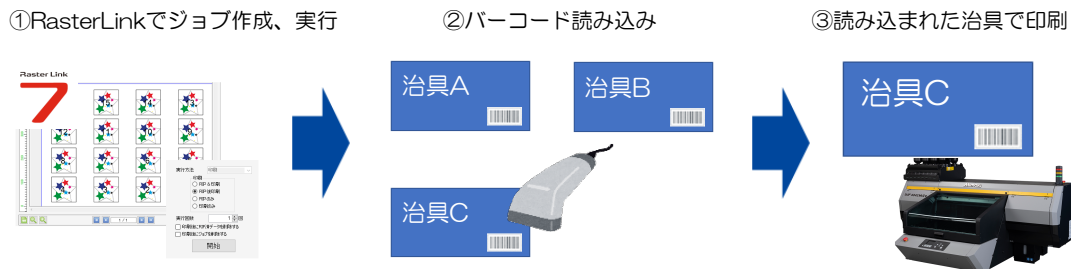
治具バーコード機能の概要について説明します。

治具バーコード機能とは.....	6	作業フロー.....	9
動作環境.....	7	準備フロー.....	9
システム構成.....	8	印刷フロー.....	9
		従来の印刷フローとの比較.....	9
		JigLinkとは.....	10

# 1.1 治具バーコード機能とは

## ● 治具バーコード機能とは

治具バーコード機能は、バーコードで読み込んだ治具情報を用いて治具配置印刷を行う機能です。ジョブの治具選択を簡略化することができます。治具の調整を利用しており、治具を複数持つお客様が対象です。



## ● 治具バーコード機能のメリット

治具バーコード機能を使用すると、以下のようなメリットがあります。

- 印刷の度にRasterLink上での治具選択の操作が不要になる。
- バーコード読み込みをトリガーに印刷を開始することでRasterLink上での操作が減り、手順が簡略化できる。
- バーコードで読み込んだ治具を利用して印刷を行うことで、治具の置き間違いを防ぐことができる。
- バーコードで治具の管理が行えるため、治具管理のコストが軽減される。

## ● 用語説明



用語	説明
発行	画像ファイルで保存すること

## 1.2 動作環境

### ● ソフトウェアとドライバー

治具バーコード機能を使用する場合は、お使いのPCに以下のソフトウェアとドライバーをインストールしてください。

名称	バージョン
RasterLink7 <sup>*1</sup>	Ver.2.0.0 以上
JigLink <sup>*2</sup>	Ver.1.0.0 以上
Mimaki ドライバー	Ver.5.5.0 以上

- \*1. 治具バーコード機能を有効にする必要があります。  
 「[準備] RasterLink7の設定」 (P. 12)
- \*2. インストール後に設定が必要です。  
 「[準備] JigLinkへの治具登録からバーコード貼り付けまで」 (P. 14)

### ● 対応機種

以下のプリンターが治具バーコード機能に対応しています。

対応可能な機種
UJF-7151plusII
UJF-3042MkII e
UJF-6042MkII e



- ・ 治具バーコード機能を使用する際は、必ずワークチェンジの設定を有効にしてください。

### ● その他

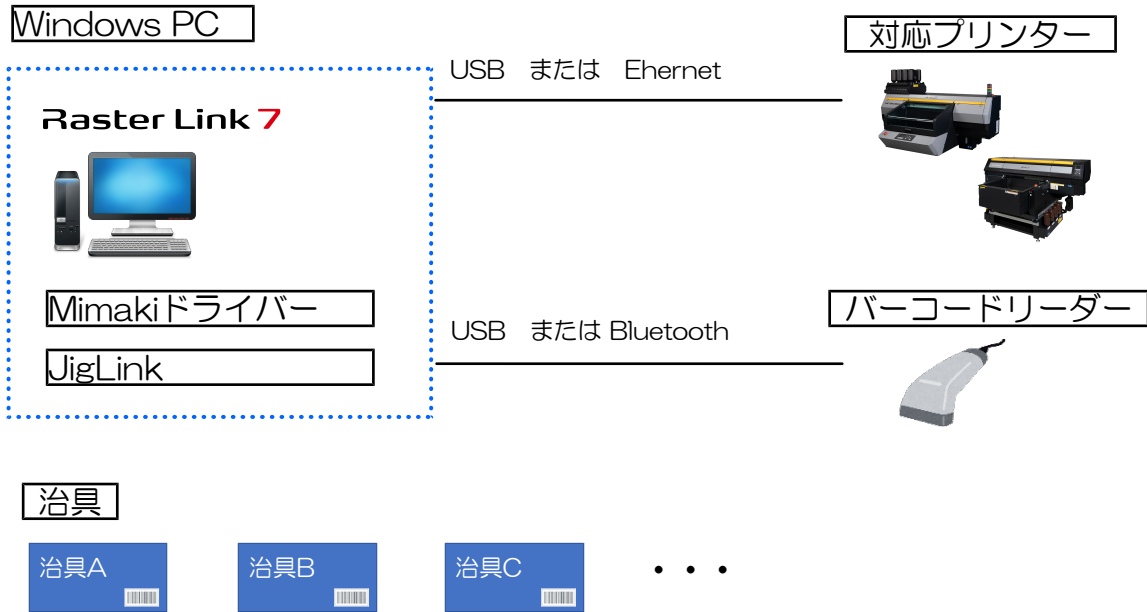
治具バーコード機能を使用するには以下の機材をご準備ください。

名称	説明
バーコードリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIDに対応していること(USB/Bluetooth接続)。</li> <li>・ EAN/JANコードが読み取り可能であること。</li> <li>・ RasterLink7がインストールされたPCと接続していること。</li> </ul>
バーコードラベル印刷用プリンター	JigLinkから発行されたバーコードをラベル印刷するプリンターです。
治具	バーコードのラベルを貼りつけ、治具バーコード印刷を行うために必要な器具です。



- ・ 機材、器具のメーカーは問いません。

# 1.3 システム構成

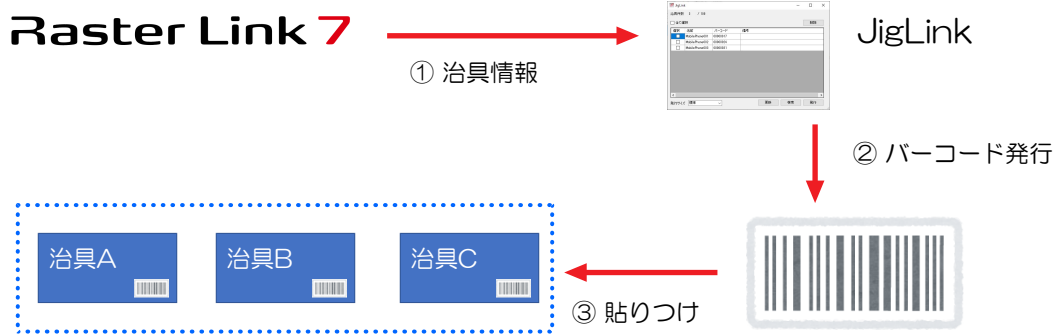




# 1.4 作業フロー

## 準備フロー

👉 「事前準備」 (P. 11)



## 印刷フロー

👉 「治具バーコード機能を使用した印刷手順」 (P. 17)

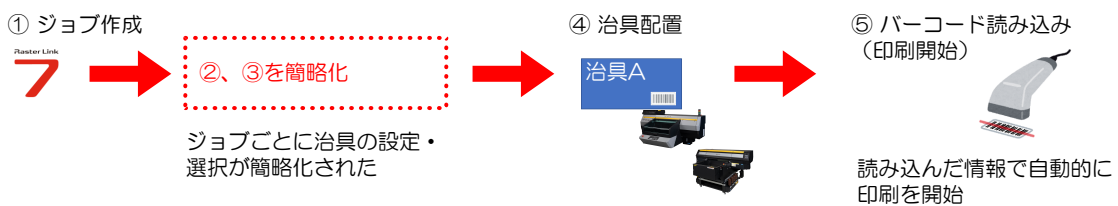


## 従来の印刷フローとの比較

### 従来の治具配置印刷の場合



### 治具バーコード機能を利用した場合



## 1.5 JigLinkとは

### ● JigLinkとは

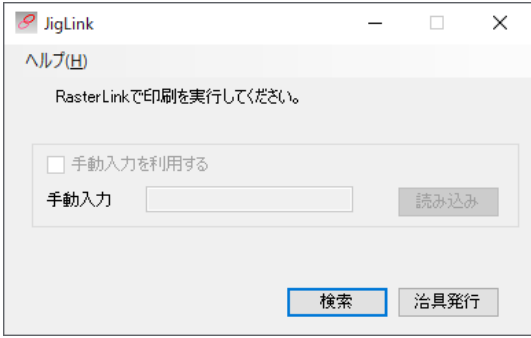
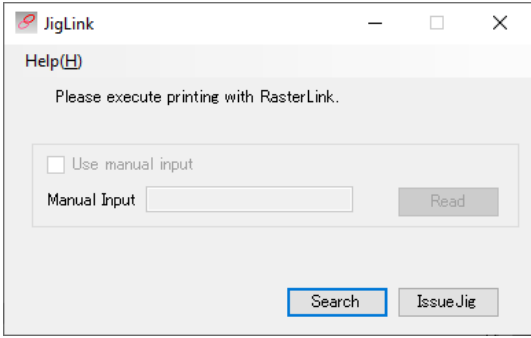
JigLinkは、治具情報とバーコードを紐づけるソフトウェアです。

JigLinkは以下のような機能を持っています。

- 治具情報の管理
- バーコードの作成
- バーコードの読み込み
- 印刷位置の更新

### ● JigLinkの言語設定

JigLinkの言語は、JigLinkをインストールしたPCの言語設定に応じて自動で決定されます。

PCの言語設定	JigLinkの表示言語
日本語	日本語 
日本語以外	英語 

## 第2章 事前準備



この章では...

治具バーコード機能を使用した印刷の事前準備について説明します。

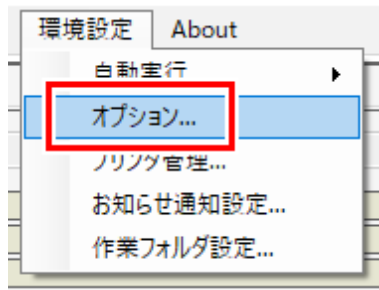
[準備] RasterLink7の設定 .....	12	[準備] JigLinkへの治具登録からバーコード貼り付けまで .....	14
[準備] JigLinkのインストール .....	13	治具定義ファイルの作成とエクスポート ...	15
		JigLinkの起動とバーコードの準備 .....	15

## 2.1 [準備] RasterLink7の設定

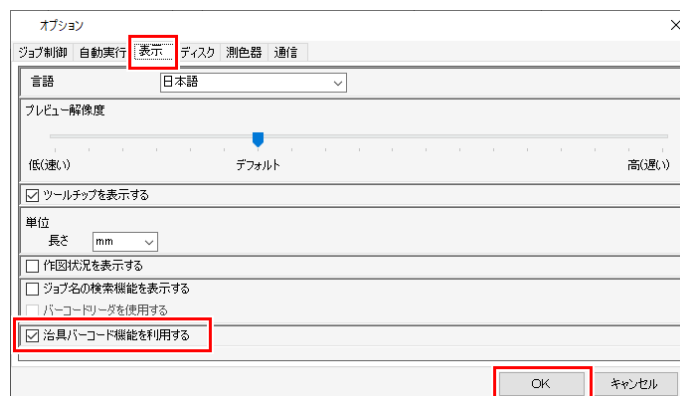
### ● オプションの有効化

RasterLink7の治具バーコード機能を有効化します。

- 1 メニューから[環境設定] - [オプション]を選択します。



- 2 [表示]タブをクリックし、[治具バーコード機能を利用する]のチェックボックスをオンにして、[OK]をクリックします。



### ● [出力ポート]の設定



- プリンターの登録時に[プリンタ設定]画面で設定する[出力ポート]は、USBまたはEthernetを選択するようにしてください。  
[ファイル]を選択した場合は治具バーコード機能を使用できません。


## 2.2 [準備] JigLinkのインストール

### ● インストーラーの入手方法

弊社公式ウェブサイトのRasterLink7ダウンロードページから、JigLinkのインストーラーをダウンロードしてください。

- ダウンロードページ  
<https://japan.mimaki.com/product/software/rip/raster-link7/download.html>

### ● インストール手順

- 1** ダウンロードした実行ファイルをダブルクリックします。
  - インストーラーが起動し、インストールが開始されます。
- 2** 画面の指示にしたがってインストールを進めます。
  - インストールが終了すると、Windowsのデスクトップ上にJigLinkのショートカットアイコンが作成されます。

## 2.3 [準備] JigLinkへの治具登録からバーコード貼り付けまで

RasterLink7で作成した治具定義ファイルをJigLinkへ登録する方法から、バーコード印刷までの手順を説明します。

### 1. [RasterLink7] 治具定義ファイルの作成とエクスポート

👉 「治具定義ファイルの作成とエクスポート」 (P. 15)

- RasterLink7で治具定義ファイルを作成し、エクスポートします。



### 2. [JigLink] JigLinkの起動

👉 「STEP2. JigLinkの起動」 (P. 15)

- JigLinkを起動し、治具定義ファイルを読み込みます。



### 3. [JigLink] バーコードの発行

👉 「STEP3. バーコードの発行」 (P. 16)

- 登録された治具の識別用バーコードを発行します。



### 4. [JigLink] バーコードの印刷と貼り付け

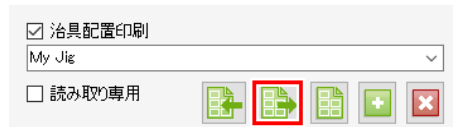
👉 「STEP4. バーコードの印刷と貼り付け」 (P. 16)

- 発行したバーコードを印刷し、治具に貼り付けます。

## 治具定義ファイルの作成とエクスポート

### ● STEP1. 治具定義ファイルの作成とエクスポート

- 1 JigLinkに登録する治具定義ファイルをRasterLink7で作成します。
- 2 治具定義ファイル作成後、治具ファイル定義のエクスポートアイコンをクリックし、下記の場所に保存します。
  - 保存先：“Windowsがインストールされているドライブ¥MimakiTools¥JigLink¥JigData”




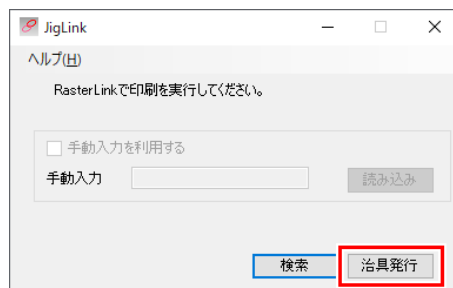
**重要!** • 上記の場所以外に保存した場合、治具定義ファイルを読み込めません。

- 3 以上の手順を、JigLinkに登録する治具の数だけ繰り返します。

## JigLinkの起動とバーコードの準備

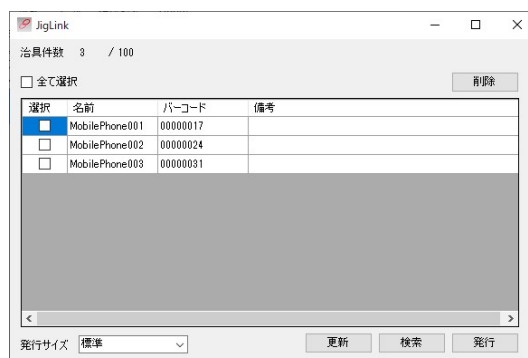
### ● STEP2. JigLinkの起動

- 1 Windowsの[スタート] - [Mimaki JigLink]から [Mimaki JigLink]を選択するか、デスクトップの  アイコンをダブルクリックします。
  - JigLinkが起動します。
- 2 [治具発行]をクリックします。



- STEP1でエクスポートした治具定義ファイルの一覧が表示されます。

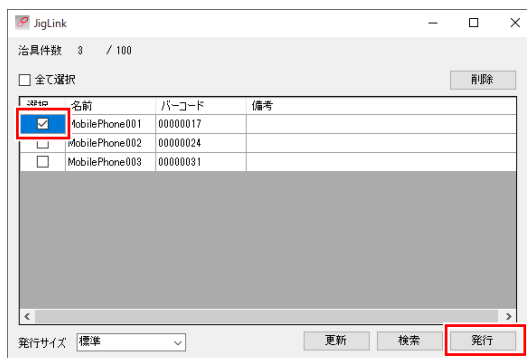
**重要!** • 発行可能な治具の登録件数は100件です。100件以上の治具の登録は可能ですが、発行処理はできません。



- JigLinkを起動した後にRasterLink7からエクスポートした治具定義ファイルは、自動では読み込まれません。[更新]をクリックするか、JigLinkを再起動してください。

### ● STEP3. バーコードの発行

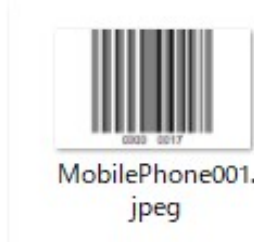
1 バーコードを発行したい治具のチェックボックスをオンにし、[発行]をクリックします。



- 複数のチェックボックスをオンにすると、同時に複数のバーコードを発行できます。
- [発行サイズ] (大、標準、小) を変更すると、大きさの異なるバーコードを発行できます。

2 保存先フォルダーを選択し、[開く]をクリックします。

- 選択した治具のバーコードがjpeg画像として、指定した保存先に保存されます。



- 発行時にファイル名や拡張子を指定することはできません。変更したい場合は発行後に手動で変更してください。

### ● STEP4. バーコードの印刷と貼り付け

このバーコードをバーコードリーダーで読み取ることにより、RasterLink上で治具の選択が不要となります。



- バーコードを印刷するプリンターや印刷方法はお客様自身でご用意ください。



バーコードは以下の場所に貼りつけてください。

- 印刷の邪魔にならない場所
- バーコードリーダーで読み取りやすい場所

1 STEP3で発行した治具を識別するバーコードを、バーコードラベル印刷用のプリンターで印刷します。

2 印刷したバーコードを治具に貼りつけます。



# 第3章 治具バーコード機能を使用した印刷手順



この章では...

治具バーコード機能を使用した印刷手順について説明します。

## 3.1 [印刷] 手順の概要

治具バーコード機能は、RasterLink7とJigLinkを連携させて、治具配置印刷を行います。

RasterLink7でのジョブ作成から、JigLinkでのバーコード読み取りを使用する印刷までの手順を説明します。



- 「事前準備」 (P. 11) をすべて完了させておく必要があります。

### 1. [RasterLink7] ジョブの選択

☞ 「3.2 STEP1. ジョブの選択」 (P. 19)

- 印刷するジョブを選択します。



### 2. [RasterLink7] 治具の選択

☞ 「3.2 STEP2. 治具の選択」 (P. 19)

- 治具配置印刷から、使用する治具を選択します。



### 3. [RasterLink7] 印刷開始

☞ 「3.2 STEP3. 印刷開始」 (P. 20)



### 4. [JigLink] 起動と状態確認

☞ 「3.2 STEP4. JigLinkの起動と状態確認」 (P. 21)

- JigLinkの起動と状態の確認をします。



### 5. [JigLink] バーコード読み取り

☞ 「3.2 STEP5. バーコード読み取り」 (P. 21)

- バーコードリーダーで使用する治具のバーコードを読み取ります。

## 3.2 [印刷] 手順の詳細

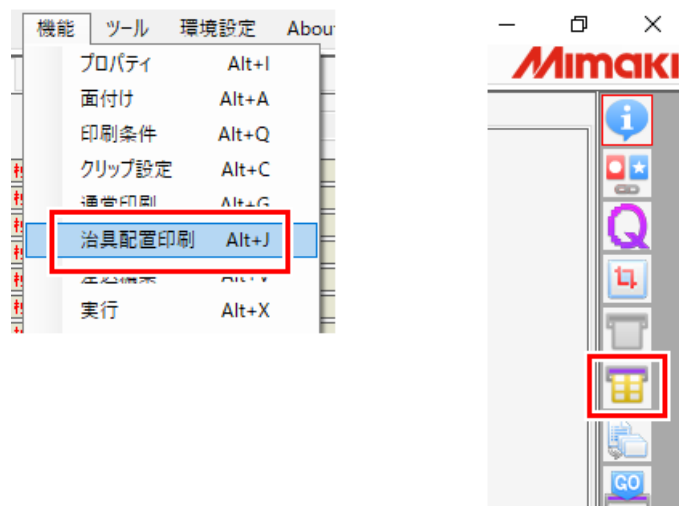
### ● STEP1. ジョブの選択

- 1 印刷するジョブをRasterLink7に読み込みます。
- 2 ジョブを選択します。

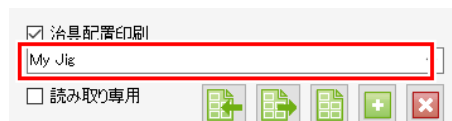


### ● STEP2. 治具の選択

- 1 機能メニューまたは機能アイコンから、[治具配置印刷]を選択します。



- 2 治具テンプレートを選択します。



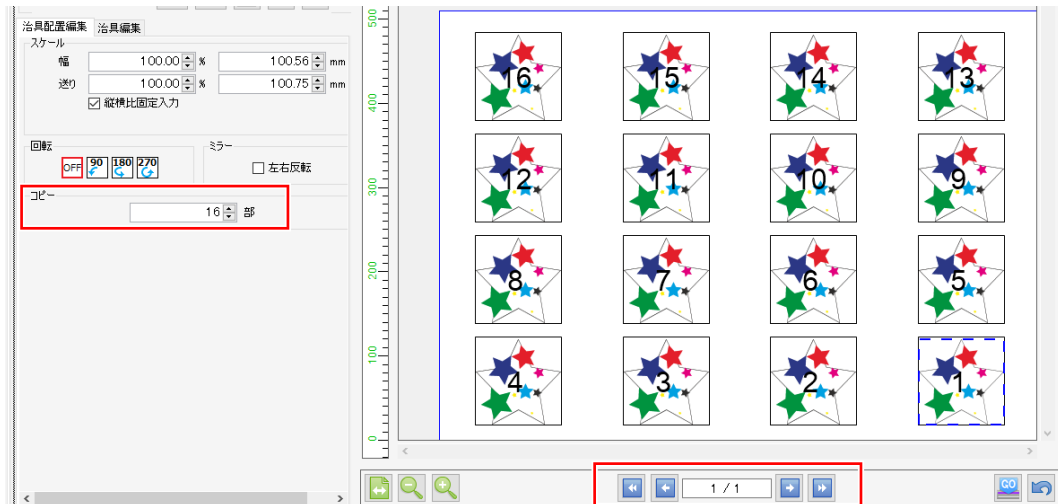
- 実際に使用する治具と同じ素材数が設定されている治具テンプレートを選択してください。



- レイアウトを確認したい場合は、実際に使用する治具と同じレイアウトの治具テンプレートを選択してください。

### 3 1ページに収まるようにコピー数を設定します。

- プレビュー画面のページ数が1/1になるようにコピー数を調整してください。

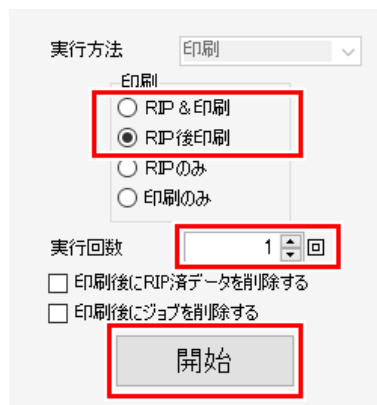


#### ● STEP3. 印刷開始


1 機能メニューまたは機能アイコンから、[実行]を選択します。

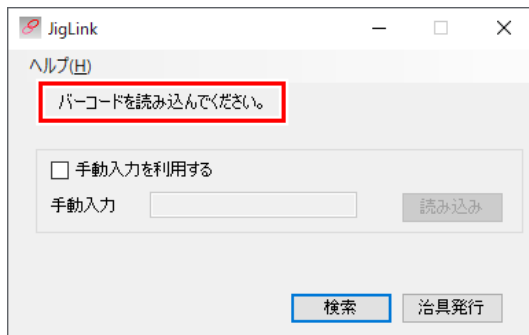
2 以下の設定をし、[開始]をクリックします。

- [印刷]：[RIP & 印刷]または[RIP後印刷]
- [実行回数]：1回



## ● STEP4. JigLinkの起動と状態確認


- 1 Windowsの[スタート] - [Mimaki JigLink]から [Mimaki JigLink]を選択するか、デスクトップの  アイコンをダブルクリックします。
  - JigLinkが起動します。
- 2 画面のメッセージが、[バーコードを読み込んでください。]になっていることを確認します。



上記のメッセージが表示されない場合は、以下の操作を試してください。

- JigLinkを再起動する。
- RasterLink7で印刷中のジョブをキャンセルし、再度ジョブを設定して印刷を開始する。

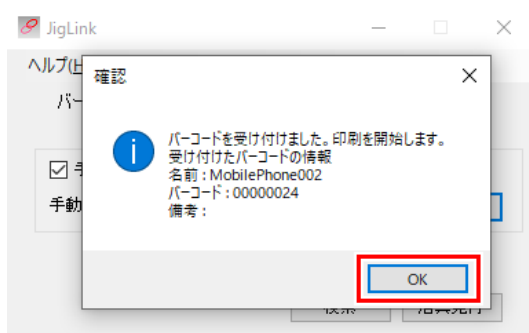
## ● STEP5. バーコード読み取り

- 1 使用する治具をプリンターに設置します。
- 2 事前準備の  「STEP4. バーコードの印刷と貼り付け」 (P. 16) で治具に貼りつけたバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。
  - バーコードの読み取りが成功すると、読み取ったバーコードに紐づいた治具情報がJigLinkの画面に表示されます。



- バーコードを読み込む際は、JigLinkの画面をアクティブな状態にしてください。

- 3 [OK]をクリックします。



- 以下の条件を満たすと、印刷が開始されます。
  - (1) プリンターがリモートになっている。
  - (2) JigLinkのバーコード読み込みが成功した。



## 第4章 こんなときは



この章では...

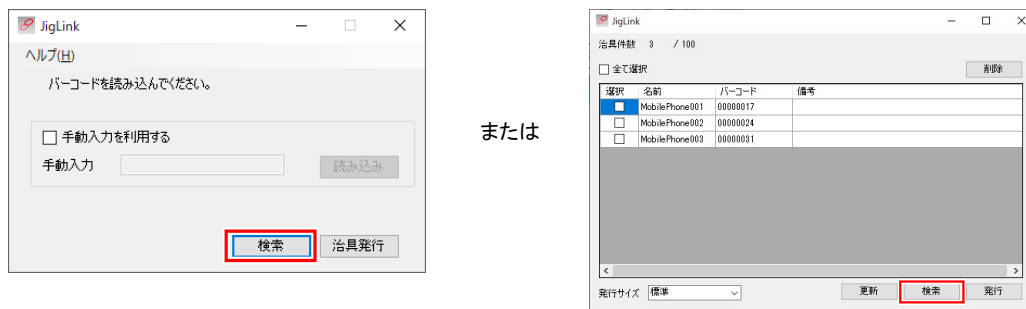
トラブルが起きたときの解消方法や、やり方がわからないときの操作方法などを説明します。

発行したバーコードを検索する .....	24	治具バーコード機能を使用した場合の機能制限 .....	28
バーコードの値を手動で入力する.....	25	治具配置印刷のコピー数が、1つの治具に配置できる最大個数を超える場合 .....	28
複数の治具を使用して印刷する .....	26	実行回数が複数回の場合 .....	28
		エラーメッセージについて .....	29

## 4.1 発行したバーコードを検索する

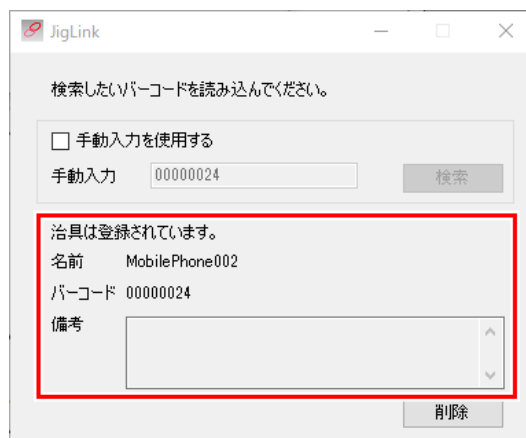
JigLinkで発行したバーコードから、治具の情報を検索する機能です。

### 1 バーコード読み込み画面、またはバーコード発行画面から[検索]をクリックします。

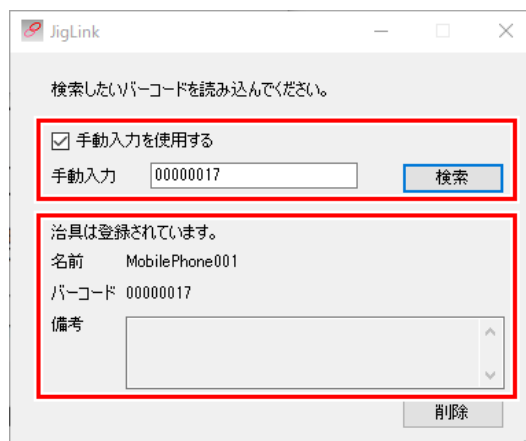


### 2 バーコードリーダーでバーコードを読み取るか、バーコードの数値を手動で入力します。

- バーコードリーダーで読み取る場合
  - (1) 治具のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。
    - 読み取りした値の検索結果が表示されます。



- 数値を手動で入力する場合
  - (1) [手動入力を使用する]のチェックボックスをオンにします。
  - (2) バーコードの数値を入力し、[検索]をクリックします。
    - 入力した値の検索結果が表示されます。

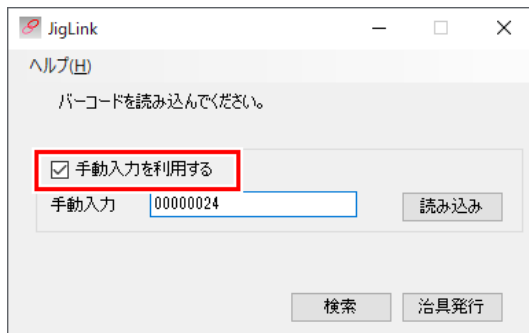




## 4.2 バーコードの値を手動で入力する

バーコードを正常に読み取れなかったり、バーコードリーダーが壊れた時などに、データを手動で入力する方法を説明します。

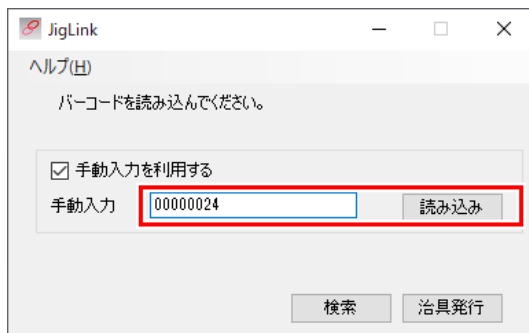
- 1 バーコード読み込み画面で、[手動入力を使用する]のチェックボックスをオンにします。



チェックボックスがグレーアウトして操作ができない場合は、画面のメッセージが[バーコードを読み込んでください。]になっているか確認してください。

- [バーコードを読み込んでください。]になっている場合  
JigLinkを再起動してください。
- [バーコードを読み込んでください。]になっていない場合  
RasterLink7でジョブが実行されているか確認してください。実行されている場合は印刷中のジョブをキャンセルし、再度ジョブを設定して印刷を開始してください。

- 2 テキストボックスにバーコードの数値を入力し、[読み込み]をクリックします。



- 入力した値の検索結果が表示されます。

## 4.3 複数の治具を使用して印刷する

治具バーコード機能を使用した場合、以下の制限があります。


- コピー数の設定は、治具に配置できる最大個数までしか設定できない。
- 印刷の実行回数を複数回に設定した場合、途中で治具を変更することはできない。

☞ 「治具バーコード機能を使用した場合の機能制限」 (P. 28)





ここでは、治具に配置できる最大個数以上の印刷を可能にする方法を説明します。

● iPhoneケースを3x3で配置できる治具を複数個使い、27個のiPhoneケースの印刷を行う場合  
ただし、印刷する絵はすべて同じ絵の場合とします。

- 1 ☞ 「[印刷] 手順の詳細」 (P. 19) の ☞ STEP1. ジョブの選択から ☞ STEP2. 治具の選択と同様の手順で、治具バーコード機能を使用して印刷するジョブを作成します。
- 2 RasterLink7のジョブ複製機能で、使いたい治具の数だけジョブを複製します。
  - 手順1を繰り返してジョブを複製しても問題ありません。

ジョブ一覧					
面付け	合成	サムネイル	ジョブ名	属性	登録日時
			AI-CC_100mm_300d...	カラー	2021/09/02 1...



ジョブ一覧					
面付け	合成	サムネイル	ジョブ名	属性	登録日時
			AI-CC_100mm_300d...	カラー	2021/09/02 1...
			AI-CC_100mm_300dpi(S...	カラー	2021/09/02 16.5...
			AI-CC_100mm_300dpi(S...	カラー	2021/09/02 16.5...
			AI-CC_100mm_300dpi(S...	カラー	2021/09/02 16.5...
			AI-CC_100mm_300dpi(S...	カラー	2021/09/02 16.5...

**重要!** • すべてのジョブのコピー数は、治具に配置できる最大の個数以下に設定してください。

- 3 すべてのジョブを選択します。

ジョブ一覧					
面付け	合成	サムネイル	ジョブ名	属性	登録日時
			AI-CC_100mm_300dpi(...	カラー	2021/09/02 16...
			AI-CC_100mm_300dpi(Star...	カラー	2021/09/02 16.53...
			AI-CC_100mm_300dpi(Star...	カラー	2021/09/02 16.53...
			AI-CC_100mm_300dpi(Star...	カラー	2021/09/02 16.53...
			AI-CC_100mm_300dpi(Star...	カラー	2021/09/02 16.53...

**4** 以下の設定で印刷を実行します。

- [印刷]：[RIP & 印刷]または[RIP後印刷]
- [実行回数]：1回

実行方法 印刷

印刷

RIP & 印刷

RIP後印刷

RIPのみ

印刷のみ

実行回数 1回

印刷後にRIP済データを削除する

印刷後にジョブを削除する

開始

**5** 治具に貼りつけたバーコードを読み取り、治具をプリンターに配置します。

- プリンターをリモート状態にすると印刷が開始されます。

**6** 印刷完了後、次の印刷で使う治具のバーコードを読み取り、治具をプリンターに配置します。**7** 手順4と手順5をジョブの個数分(使用する治具の個数分)だけ繰り返します。

## 4.4 治具バーコード機能を使用した場合の機能制限

JigLinkを使用した治具配置印刷では、コピー数と実行回数について制限があります。

### 治具配置印刷のコピー数が、1つの治具に配置できる最大個数を超える場合

正常に動作しません。

コピー数は1つの治具に配置できる最大個数以下にしてください。

例：治具が3x3で配置できる場合の最大のコピー数は9です。

治具に配置できる個数以上の印刷をしたい場合は以下をご覧ください。

☞ 「複数の治具を使用して印刷する」 (P. 26)

### 実行回数が複数回の場合

2回目以降の印刷で、異なる治具情報を読み込んで使用することはできません。

実行回数分のすべての印刷で同じ治具を使用してください。

治具Cを1回目の印刷で読み取ったら・・・



2回目以降も、実行回数分の印刷はすべて治具Cで印刷する



- 1 RasterLink7で実行回数を複数回に設定し、印刷を実行します。
- 2 JigLinkを起動し、印刷で使用する治具のバーコードを読み取ります。
- 3 読み取った治具をプリンターにセットし、リモート状態にします。
  - ・ 1回目の印刷が開始されます。
- 4 1回目の印刷が完了後、1回目の印刷で使った治具を再度プリンターにセットし、リモート状態にします。
  - ・ 2回目の印刷が開始されます。
  - ・ 2回目以降の印刷に別の治具のバーコードを読み取っても、1回目の印刷で読み取った治具の情報で印刷されます。
- 5 指定した実行回数分、同じ治具を使用して手順4を繰り返します。

## 4.5 エラーメッセージについて

エラーメッセージはRasterLink7のログに表示されます。

また、エラーが発生したジョブはRasterLink7側で自動的にキャンセルされます。

### ● エラーメッセージ一覧

No.	メッセージ	発生原因	対処方法
1	読み込んだ治具の素材個数よりコピー数が多く設定されています。ジョブを確認してください。	読み込んだ治具の素材個数よりジョブのコピー数が多い場合に発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み込んだバーコードの確認</li> <li>ジョブのコピー数の見直し</li> </ul>
2	読み込んだ治具をJigLink上で削除し、再度登録してください。	読み込んだ治具情報が破損しているため	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み込んだ治具をJigLinkから削除</li> <li>RasterLink7から治具をエクスポートし再登録</li> </ul>
3	JigLinkでエラーが発生しました。JigLinkを再起動してください。	上記以外のエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>JigLinkの再起動</li> <li>RasterLink7の再起動</li> </ul>



## 治具バーコード機能ガイド

---

---

2021年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒389-0512  
長野県東御市滋野乙2182-3

---

---

